

経営比較分析表（令和2年度決算）

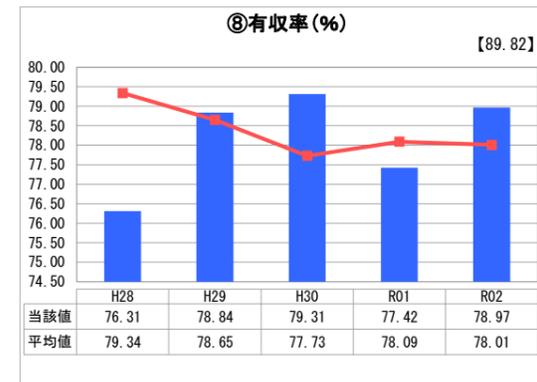
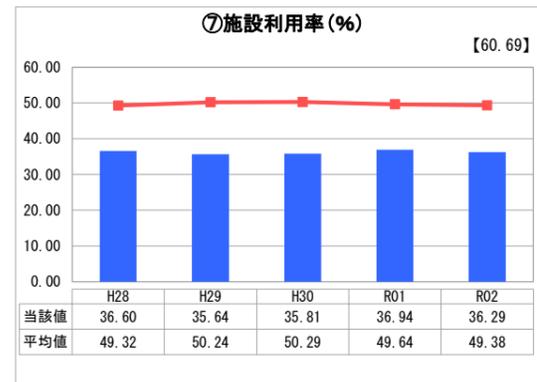
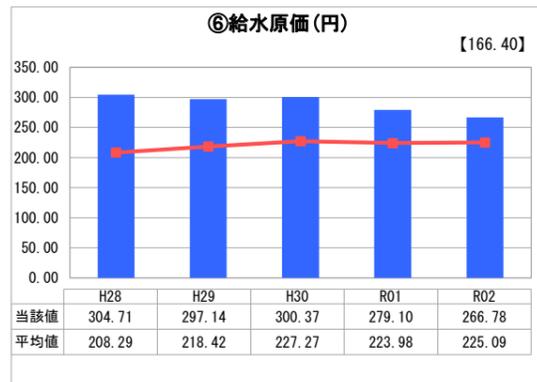
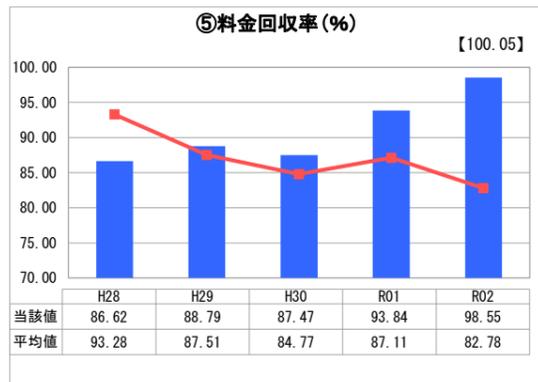
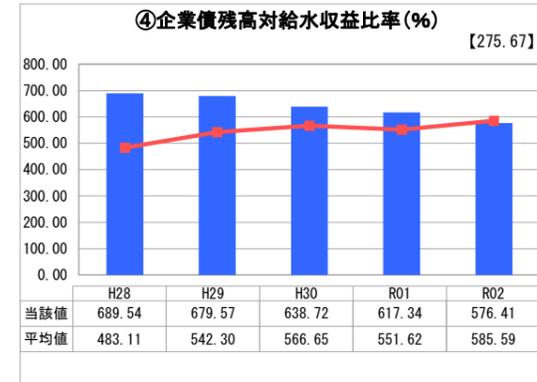
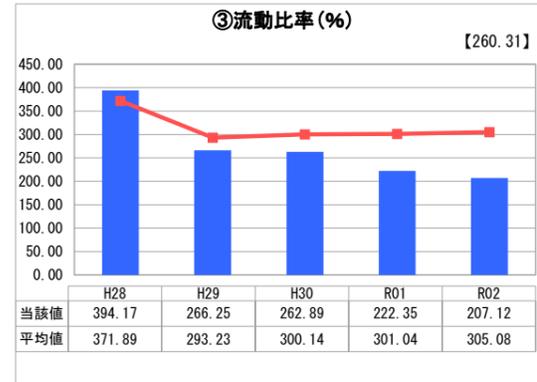
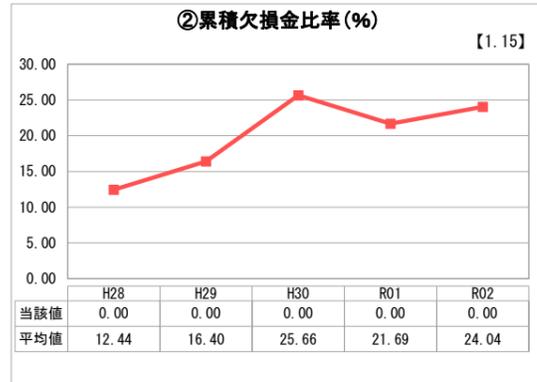
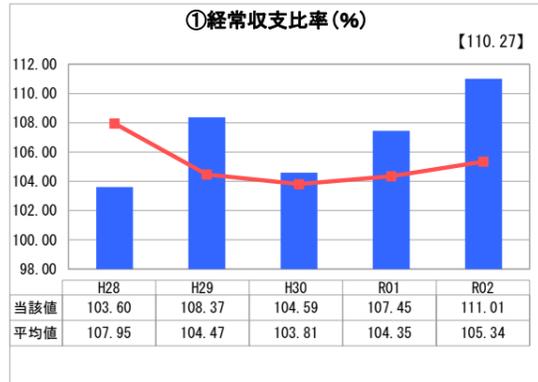
宮城県 川崎町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	59.34	95.85	4,455	

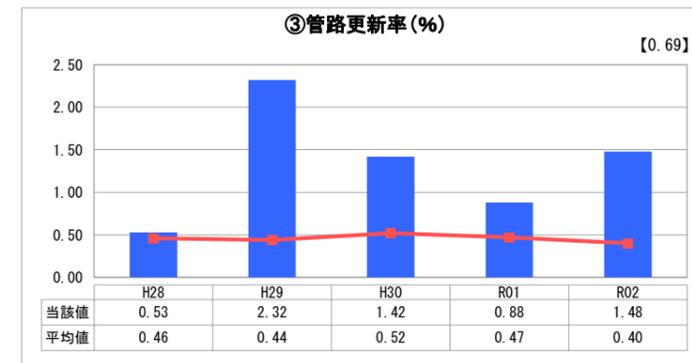
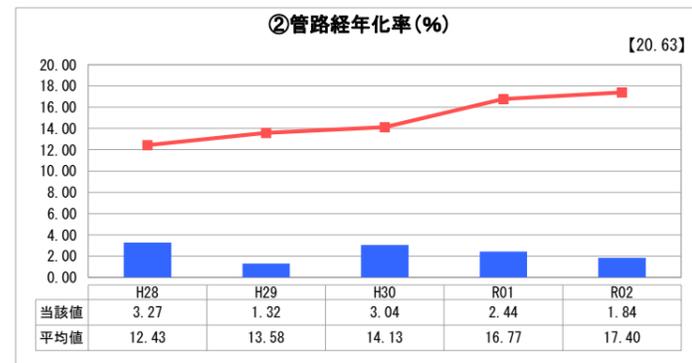
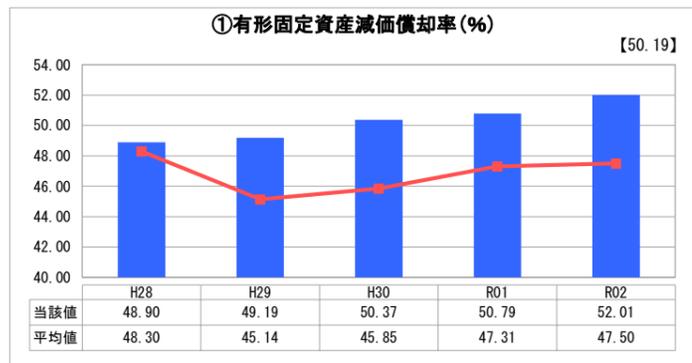
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,593	270.77	31.74
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
8,228	47.31	173.92

グラフ凡例		
■	当該団体値(当該値)	
—	類似団体平均値(平均値)	
【	令和2年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は前年度よりも向上し、欠損も発生していない。収支比率は100%を超えており、健全な経営を行っている状況である。
 企業債の発行額を抑制した結果、対給水収益比率は年々減少している。将来の負担軽減のため、安易な起債は避け、計画的な工事及び適切な借入れを行う。
 料金回収率は年々向上しており、今後も引き続き未収金対策に努める。
 配管や設備の更新により漏水量が減少した。その結果、有収率が向上した。

2. 老朽化の状況について

令和2年度まで継続して行ってきた石綿セメント管更新事業で、耐震管に入れ替えを行ってきたことにより、経年化率は低い水準にある。今後は順次老朽化の進む地区の配水管更新を計画的に行い、経年化率の上昇を抑制する。

全体総括

町人口の減少に伴い、給水人口も年々減少している。そのため、将来的に給水収益の減少は避けられない状況である。料金徴収の強化及び経営の効率化を図り、健全経営の継続を目指す。
 老朽配水管については、補助金等を活用しつつ計画的に更新していく。